



令和 3（2021）年 1 月 19 日

関係各位

当院作業療法士の新型コロナウイルス感染について
（終息のご報告）

令和 3（2021）年 1 月 4 日、当院作業療法士の新型コロナウイルス感染が判明した件につきまして、全ての入院患者及び関係職員の PCR 検査、専門業者による院内消毒を実施し、保健所の指導のもと、2 週間の経過観察を行ってまいりましたが、感染拡大は認められませんでした。院内感染を起こさず終息しましたこと、感染した職員も軽症にとどまったことに安堵しております。

当院療養中の患者さま、ご家族の皆さま、地域の関係各位にはご心配とご負担をおかけし誠に申し訳ございませんでした。また深いご理解とご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の増勢が続く中、今回の経験を活かし、より一層の感染防止に努める所存でございます。今後ともよろしく願いいたします。

病棟からこんにちは②

新年、明けましておめでとうございます。2021 年の幕開けです。昨年は感染症対策として、入院患者様の年末年始の外出泊が叶わず病院での年越しとなってしまいました。そんな中私たちに『今できること』として“病院であっても、お正月の気分を味わっていたきたい”と専門職それぞれが創意工夫しています。今回は栄養科から「おせち料理」を取材しました。食事は入院生活の大きな楽しみの一つです。栄養科ではお正月三が日の特別メニューを企画提供しました。中でも元旦昼食の幕の内弁当は伊達巻・飾りかまぼこ・小豆飯・花にんじん等、おせち料理の定番がふんだんに盛り付けられて彩り華やかで



す(写真)。患者様のご状態に合わせて数の子などの硬い食材は、柔らかく煮た海老などに代用、鮭かけやムースにして喉越しを良くする工夫をしており、美味しく召し上がっていただきました。さりげなくメッセージカードを添えて視覚でも味覚でも「お正月」を味わっていただくことができました。少し早い春の足音が聞こえてくるようなひと時に心も伸びました。

地域連携部 病院だよりチーム

つぶやき

謹んで新年のお喜びを申し上げます。新型コロナ終息の先行き見えぬまま年越しとなり、今年は初詣を控えた方も多いのではないのでしょうか。実は私もその内の一人です。そこで去年のお礼やお守り、どうしようか…と思い調べてみました。諸説ありますが、持ち主に代わって災厄を受けるため 1 年くらいで返納するのが通例ですが神様のご加護に期限などありませんから目安だそうで、梅の咲く頃にお参りしても気持ちいいかもしれませぬ。皆様にとって良い一年になりますように。

地域連携部

